

## 所蔵資料紹介

William James 旧蔵本 ( デューイ文庫 )  
*Les lois de l'imitation : etude sociologique*  
( 『模倣の法則、社会学的研究』 )  
/ par G.Tarde  
【今出川 貴重 361.4 T9267】

当センターの特別コレクションの一つ、デューイ文庫をご存知でしょうか？

デューイ文庫は、アメリカの哲学者、教育学者である John Dewey(1859 - 1952)による著作ならびにプラグマティズム研究関連資料を収集したものです。デューイ研究者であった吉川哲太郎名誉教授の寄贈図書と寄付金 ( デューイ文庫基金 ) により1970年に創設されました。

その後現在にいたるまで、デューイ文庫基金は、関連資料の収集に役立っています。例えば、プラグマティズムに関して書かれた博士論文については毎年調査し、海外も含めすべて購入しています。

今回はそのデューイ文庫の新しい資料の中から、一冊をご紹介します。



この本は、1895年にパリのFelix Alcanから出版された、Gabriel Tarde(1843 - 1904)『*Les lois de l'imitation: etude sociologique* ( 模倣の法則 社会学的研究 )』の改訂・増補版です。

アメリカの哲学者、心理学者であり、プラグマティズムの創始者であるWilliam James(1842 - 1910)の旧蔵本であり、その書き入れがあることから貴重書に指定されています。

見返紙の献辞によると、この本はWilliam James から、イギリスの著名な法学者Albert Dicey ( 1835 - 1922 ) に贈呈され、その後その妻から、ロシア生まれのイギリスの法学者・歴史学者であるSir Paul Vinogradoff ( 1854 - 1925 ) に贈呈されたものです。

それが、今年の6月イギリスの古書店で発見され、当センターが購入することになりました。

実際にページを開けてみると、扉の見返しに始まって、本文中にも無数の書き込みや註釈があり、あちこちに下線が引かれているのがわかります。

いかに彼がこの本の影響を受けたかは、その著作や講義でも言及していることから明らかです。



「模倣。人間はいつでも、すぐれて模倣的な動物として認められてきました。(中略)しかるに不思議にも、人間における模倣衝動の全貌と重要性とが正しく認識せられるにいたったのは、やっとこの十余年前のことなのです。タルド氏がその驚嘆に値する独創的著述『模倣の法則』においてこの道を開拓したのでした。」(『心理学について：教師と学生に語る』ウィリアム・ジェイムズ〔著〕大坪重明訳【今出川閉架 133.95 J-7 1】)

この本の著者であるGabriel Tardeは、フランスの社会学者、犯罪学者であり、下級司法官として類似犯罪の審理にあたった経験から、模倣こそ社会の成立に重大な意義を持つものと考えこの本を著しました。この一冊の本が、国を越えて、アメリカの現代思想の核心を形成するプラグマティズムに大きな影響を与え、犯罪学の分野においても社会環境を重視する社会学派を開く礎となりました。

この本を手にとると、新たな思想が生成される現場に立ち会っているかのような感覚を覚えます。

デューイ文庫は現在約4,000冊を数え、教育分野の大変貴重な資料群を構成しています。

当センターでは一般資料に加えて、このような資料についても収集し、資料の一層の充実を図っていきたく考えています。